

**製品名:** ホスホピルビン酸脱水素酵素 E1- $\alpha$  サブユニットウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe87115

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:43 kDa; Observed MW:43 kDa

**抗原情報**

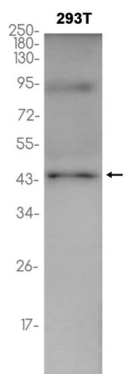
遺伝子名	Phospho-Pyruvate Dehydrogenase E1-alpha subunit
別名	PDHA; PDHAD; PHE1A; PDHCE1A
遺伝子 ID	5160
SwissProt ID	P08559
免疫原	ヒトピルビン酸脱水素酵素 E1- $\alpha$ サブユニットの Ser293 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

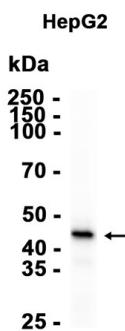
ピルビン酸脱水素酵素 (PDH) 複合体は、核コードされたミトコンドリア多酵素複合体であり、ピルビン酸からアセチル CoA と CO<sub>2</sub> への変換全体を触媒し、解糖系とトリカルボン酸 (TCA) 回路を結ぶ主要な経路となっている。PDH 複合体は、ピルビン酸脱水素酵素 (E1)、ジヒドロリポアミドアセチルトランスフェラーゼ (E2)、およびリポアミド脱水素酵素 (E3) の3つの酵素成分の複数のコピーから構成される。E1 酵素は、2つのαサブユニットと2つのβサブユニットからなるヘテロ四量体である。この遺伝子は、E1 活性部位を含む E1α1 サブユニットをコードし、PDH 複合体の機能において重要な役割を果たしている。この遺伝子の変異は、ピルビン酸脱水素酵素 E1α 欠損症および X 連鎖性リ-症候群と関連している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写変異体が見ついている。[RefSeq 提供、2010 年 3 月]

## 研究分野

## 画像データ



ホスホピルビン酸脱水素酵素 E1-α サブユニットウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した 293T 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。



AMRe87115 を 1:1000 で使用して HepG2 細胞抽出物をウエスタンブロット分析しました。